

ネット社会の便利さと人権侵害

はじめに

最近、パソコンやケータイによる、インターネット(ネット)の普及は、目を見はるものがあり、家に居ながらにして何でもできる時代になりました。たとえば、通信販売では、購入したい物があるときは店に行かなくても、画面でいろんな種類の商品や値段を瞬時に調べることができたり、仕事や日常生活で必要な情報も簡単に手に入れることができます。世界の出来事もすぐにわかり、とても便利になりました。

しかし、その反面、ネットによる人権に関わる事件や問題が増えたのも事実です。
ネットを利用した人権侵害
ネットを悪用して、特定の個人を誹謗中傷したり、個人情報を書かされた人はどう思うだろうかという相手の気持ちになって考えることです。そして、次のことに気をつけることが必要です。

例えば、ネットの掲示板に「名前や、電話番号、住所、顔写真等を出して悪口を書き込む」のは名誉毀損にあたりますし、「いじめ」「いじめ」「いじめ」等は、脅迫になります。援助交際の相手を探す募集をすれば、出会い系サイト規制法違反になります。そして、学校裏サイトによる嫌がらせの書き込みやプライバシーの侵害等は、すべて人権侵害になります。どうせ、だれが書いたかわからないのだからと思うのは、大きな間違いです。警察等の捜査により書き込んだ者は必ず特定され明らかになります。

最近、ケータイによるネットの利用数もかなり高くなり、平成22年度末で9,462万人と言われています。ネットを利用する大人も子どもも、一人一人が人権意識をしっかりと持つておかねばなりません。
情報モラルを考えよう
このような大変悪質で陰湿ないじめのような犯罪をなくすために、「こんなことを書いたら、書かれた人はどう思うだろう」という相手の気持ちになって考えることです。そして、次のことに気をつけることが必要です。

では伝わらないことがあります。誤解を招かないためにも丁寧にすることが大事です。

○個人情報を書き込まない

掲示板に他人の個人情報を書き込んだり、他人になりすまして投稿したりすることは、プライバシーの侵害です。

○責任は自分にある

未成年だからといって責任逃れはできません。年齢に関係なく書き込みをすれば、した人が責任者となります。

○差別につながることは書いてはいけない

悪口や差別的な表現で人を傷つける書き込みは卑劣で卑怯きわまりない行いです。絶対にしてはなりません。

ネット社会の到来により、色々な情報を簡単に入手できるようになりました。しかし、使い方を誤ると、人権侵害をはじめいろいろな犯罪の道具にもなります。パソコンやケータイのネットを利用するときは、前述したことをしっかりと守る必要があると思います。

一人一人が人権意識をしっかりと持って、いじめや差別のない、みんなが暮らしやすい益城町を創っていきましょう。

益城町教育委員会

ふるさとの地名漫歩

歴史の変遷と地名

344

飯田山常楽寺④

山岳寺院の訳は寺僧は俗世界から離れ深山幽谷で雑念を去る修行が大切とされ、それにはその山全域を結界(仏経で一定の場所を決定し聖なる目的のために利用すること)にする必要があります。これは「修行の妨げとなる者の入ることを許さない地域」なのでそれから先の結界の境界の一例が「女人禁制」で、高野山・比叡山が有名です。

では、飯田山常楽寺の結界はどこまでかですが、神仏分離令により常楽寺廃寺の結果、かつては所有地(結界)であったと思われる山地・山畑も官有地・民有地となり、今はその範囲を辿ることは不可能です。ただ地図上の地形から中世期の結界を大胆に推定すれば、東は岩戸川左岸沿いの山麓、南から西は天君ダムがある矢形川右岸沿いの山麓、北は山麓の本土山・土山地域でしよつか。

今はサントリーの敷地内ですが、かつては高台の畑地で、飯田山の真正面になる畑地の端に「花立」の微小地名がありました。原義は台地の突端が低地に臨む崖の意味の「端立」ですが、この「花立」は嘉島方面からの女人禁制の場所女性信者はここまでの参詣を許され、ここで生花を供え、常楽寺を遥拝したとされ花立の文字が当てられました。地形地名が信仰地名に変化した好例です。ここには禁制地を示す地藏が祀られています。したが、工場敷地となつたため小豆坂の途中の脇の農道の路傍に移転安置されています。

福田寺の女人禁制地は赤井側の右岸にあるように、木倉の女人禁制地は矢形川の左岸の地名「もんぐち」かも知れません。

益城町文化財を訪ねる会
会長 松野國策



女人禁制地を示す地藏
(小豆坂の脇道)